



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

幼年版 5

対人理解② (言動と反応の対比)

構成：A 5判45 枚組

1	一緒に遊びたい時は、後ろから服や髪を引っ張ったりするのではなく、その気持ちをそのまま伝える。
2	手伝って欲しい時には、命令ではなく、誘ったり頼んだりするようにして気持ちを伝える。
3	遊ぶ時は、一方的に嫌な役を押し付けるのではなく、相手と相談して決める。
4	「かして」と言われても、貸したくない時は、相手が嫌な気持ちにならないような言い方で断る。
5	自分は持っていないくて、だれかに借りるしかない時は、事情を伝えて頼んでみる。
6	「おまえのおかあさん、おばあちゃんみたい」など、相手が嫌な気持ちになるような言葉は口に出さない。
7	「あのこのこときらいだよね」など、同意を求められても、安易に頷かない。
8	可愛いリボンなど気になる物を見つけても、むやみに引っ張ったり取ったりしない。
9	リレーなどで負けても、人を責めるのではなく、自分はどうするかという考えを話す。
10	友だちがつかまえた虫を、無理やり取ろうとするのではなく、見せて欲しい気持ちを伝える。
11	相手が自分の持っている物を見たそうにしている時は、つきとばすのではなく、一緒に見ようと提案する。
12	「遊ぼう」と誘って断られた時は、相手の都合を考えて適切な返事をする。
13	名札付けなど、頑張ってもひとりでできないことがある時には、手伝ってもらおうなどの方法を考える。
14	先生には「あれ とれよ」ではなく「あれをとってください」と丁寧な言葉でお願いをする。
15	そばにボールが転がって来た時には、持ち主がわかったら、その子に渡してあげる。